

楽しかった三輪車ボウリング

五年 R・M

六月二十七日（水）に分校の友達と交流がありました。ゲームの三輪車ボウリングが始まりました。わたしは一番最初だったので、ちよつとはずかしかったです。ついにスタートしました。わたしは後ろから押して、進みました。ついたらIくんはボールをわたして、「ころがすんだよ。」

とやさしく小さな声で言いました。するとIくんは言ったとおりにボールを転がしてくれました。ボールはまっすぐ行って、ストライクになりました。わたしは、（すごい）と心の中で思いました。そして、Iくんは、ジャンプしながらすぐよろこんでいました。わたしはそれを見て、（よかった）と思いました。こんどは手をつないでスタート地点にゆつくり歩きました。次の人に、手でタッチをしました。短い時間だったけど、楽しめてよかったと思いました。